

令和 年 月 日

鳥取市長 様

収支報告書記載例

交付金60万円
参加者5名 の場合

①○集落協定

集落協定代表者

鳥取 太郎

印

令和7年中山間地域等直接支払交付金収支報告書

1 交付金に係る配分額及び共同取り組み活動の支出額

(1) 配分額

実際に個人配分を行った金額

配分方法の記載
(例)面積割…面積に応じて配分
均等割…均等に配分

	金額(円)	配分等の基礎
① 個人配分分	※ 1 300,000	※ 3 面積割
② 共同取組活動分	※ 2 300,000	※ 4 均等割
③ 合計	600,000	

合計—個人配分の金額
(残額+共同取組活動分)

(2) 共同取組活動支出額

※ 5 支出項目	※ 6 支出額(円)	※ 7 備考
④ 役員手当	40,000	代表1万5千円、会計1万5千円 他役員5千円×2
⑤ 農道維持費	25,000	2,500円／回×2回×5人 (5/20、9/10)
⑥ 草刈機の替刃購入費	15,000	3,000円×5枚
⑦ デジタルカメラ購入費	40,000	デジタルカメラ1台
⑧ プリンター購入費	30,000	プリンター1台、インク7色×1組
⑨ 総会費	30,000	資料代等(2/1)
⑩ 農産物交流会費	70,000	テント賃借料等(11/5)
⑪		

支出された案件毎に記入して下さい。

※ 令和7年中(令和7年1月1日～令和7年12月31日まで)の
共同取組活動支出金額を記載

⑭	※ 8 250,000	※ 10 ⑮ 過年残(積立)額計 100,000
⑯	※ 9 50,000	積立額計(⑮ + ⑯) 現在の残と照合 150,000

※ ⑯、積立額計欄は利子収入を除くこと。

(参考) 令和7年利子: ⑬円

2 協定参加者別細目

令和 年 月 日

	協定参加者名	個人配分分	共同取組活動分		合計	
		収入額①	収入額②	支出額③	収入額① +②	支出額③
1	鳥取 太郎	60,000	60,000	50,000	120,000	50,000
2	砂丘 花子	100,000	60,000	50,000	160,000	50,000
3	白兎 次郎	20,000	60,000	50,000	80,000	50,000
4	八上 姫子	80,000	60,000	50,000	140,000	50,000
5	太國 三郎	40,000	60,000	50,000	100,000	50,000
6	※ 11	※ 12	※ 13	※ 14	※ 15	※ 16
7						
8	1ページ目(1)-①に記入した「個人配分分」を実際に参加者へ配分した額を記入。			1-(2)の共同取組活動支出額の総計金額を配分方法に従って参加者毎に配分して下さい。		
9						
10						
11						
12						
13	1ページ目(1)-②に記入した「共同取組活動分」をその配分方法に従って参加者へ配分した額を記入して下さい。 ここでは、30万円を均等に配分し一人当たり6万円となります。 実際には共同取組活動分は個人へ配分していないのなぜ?と思われるかもしれません。これは、共同取組活動分も参加者個々の所得としてみなされることからこのような計算方法になります。					
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
	計	300,000	300,000	250,000	600,000	250,000

協定参加者別所得細目表(各人別内訳)

(注) 1 「①交付金」欄は、報告書の「2 協定参加者別細目」の「合計の収入額」欄から移記します。

(注) 2 「② 役員手当・出役賞金等」欄は、報告書の「(2)共同取組活動支出額の備考」欄等から移記します。

(注)③「^④共同取組活動分担出額欄」は、報告書の「2 標準協定参加者別細目」の「合計の支出額欄」から、移記します。

(注) 4 「^⑧ 減価償却費」欄は、機械の購入等を行った場合のみです。

収支報告記載要領

1 ページ	* 1	集落の合意に基づき、「 実際に個人配分 」に配分された額を記載する。 (例) 当該年に支払われた交付金総額60万円のうち、「個人配分分」に配分された額が30万円（50%）の場合、当該欄には300,000円と記載する。
	* 2	集落の合意に基づき、「 共同取組活動分と残額（積立額） 」に配分された額を記載する。 (例) 当該年に支払われた交付金総額60万円のうち、「共同取組活動分」に配分された額が30万円（50%）の場合、当該欄には300,000円と記載する。
	* 3	「個人配分分」の各協定参加者への按分方法（集落で合意された方法）を記載する。 (例) 面積割り及び単価に応じ按分した場合は、当該欄には面積・単価で按分と記載する。
	* 4	「共同取組活動分」の各協定参加者への按分方法（集落で合意された方法）を記載する。 (例) 按分方法としては「均等割り」や「面積割り（単価加味）」等が考えられるが、均等割りで按分した場合は、当該欄には均等割りで按分と記載する。
	* 5	共同取組活動への支出内容を項目分けして記載する。 (例) ① 役員手当、② 集落会合費、③ 農協への經理事務委託費、④ 水路・農道管理費、⑤ 景観作物作付け費、⑥ 農業機械取得費などといった実際に支出した内容を記載する。
	* 6	* 5 の支出項目ごとの支出額を記載する（過年積立分を当該年に支出した場合は、当該積立分に係る支出分も含めて記載する。）。
	* 7	* 5 の支出項目ごとに大まかな支出内訳等を記載する。 (例) ① 役員手当 協定代表者～○○円、会計担当者～○○円 ② 集落会合費 全6回開催、延べ60名参加、資料作成費・会場借上げ費など ③ 農協への經理事務委託費 ④ 水路・農道管理費 資材（生コン、モルタルなど）購入費 ⑤ 景観作物作付け費 そばの種子代、防除費など ⑥ 農業機械取得費 草刈り機3台、共有所有で持分は均等
	* 8	* 6 の支出額の合計額を記載する。
	* 9	当該年に支払われた交付金のうち、積立（繰越）がある場合、当該積立（繰越）額を記載する。
	* 10	過年積立がある場合、当該過年積立額を記載する。
2 ページ	* 1 1	各協定参加者の名前を記載する。
	* 1 2	「個人配分分」に配分された額（* 1）について、* 3 の按分方法に基づき、各協定参加者に按分された額を記載する。
	* 1 3	「共同取組活動分」に配分された額（* 2）について、* 4 の按分方法に基づき、各協定参加者に按分された額を記載する。
	* 1 4	① 当該年に支払われた交付金のうち「共同取組活動分」について、当該年に全額支出した場合（ただし、過年積立分の支出がないことが前提） ※ 13と同じ額を記載する。 ② 当該年に支払われた交付金のうち「共同取組活動分」について、一部積立がある場合（ただし、過年積立分の支出がないことが前提） 「共同取組活動分」に配分された額（* 2）のうち当該年に支出した額（* 8）を* 4 の按分方法に基づき、各協定参加者に按分された額を記載する。 ③ ①、②において過年積立分の支出がある場合 過年積立分に係る支出額（交付年の按分額）を加えて記載する。
	* 1 5	* 12 と * 13 の合計額を記載する。
	* 1 6	* 14と同じ額を記載する。
	* 1 7	* 12、* 13 を合わせた額を記載する。
3 ページ	* 1 8	役員手当・出役費等、* 17以外で協定から得た利益を記載する。
	* 1 9	* 14と同じ額を記載する。
	* 2 0	共同取組活動支出額のうち、食費や娯楽費等を記載する。
	* 2 1	* 19のうち、当該年に協定で購入を行った固定資産の金額（税込み）。
	* 2 2	* 21に係る減価償却費。計上について不明な場合は、市農村整備課又は各支所産業建設課まで。
	* 2 3	この所得金額が、協定参加者毎の中山間地域等直接支払交付金についての課税対象額になる。

【注意事項】

◎収支報告の様式は、昨年と変更ありません。これまでに使用しているエクセル等をそのまま用いていただいて構いませんが、年号、宛先等は適宜修正してください。また、押印は不要です。

国様式にも、金銭出納簿と連動して作成ができる収支報告様式が入っています。そちらで作成・提出いただいても構いません。

◎令和7年は最大3回交付しています。

- ・交付日 ※振込日は数日ずれていることがあります。

1月21日

8月22日

12月3日

すべてを合計した金額で収支報告を作成してください。

◎通帳の写しは、令和7年1月1日から令和7年12月31日までの、すべての取引が記載されているページを提出してください。

◎領収書等の写しは、令和7年1月1日から令和7年12月31日までのすべての支出について、提出してください。